

# 地方分権改革を活かした

## 地域の実情に合った取組を各地で展開

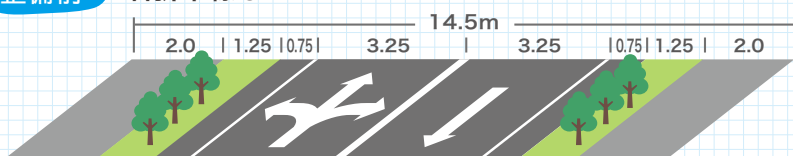
### 例：道路の車線の幅について愛知県独自の基準を設定

背景

愛知県は、平成15年以降、交通事故死者数全国ワースト1位が続いており、交通事故の防止が喫緊の課題です。また、自動車依存度が高いため、交通量も多く、道路渋滞が大きな問題となっています。

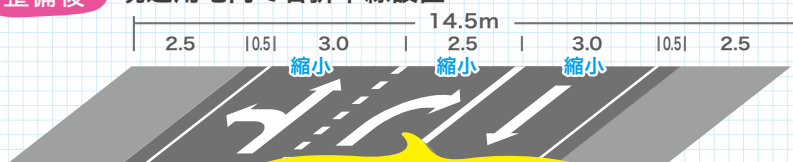
整備前

右折車線なし



整備後

現道用地内で右折車線設置



右折車線設置により  
交通渋滞の緩和、交通事故の減少

こんな効果が

地方道の道路基準について、地方独自基準の設定が可能になりました。

愛知県では、交差点部の車線に縮小規定を設けることで、右折車線を新たに設置できるようになったため、交通渋滞の緩和や交通事故の減少などの効果が期待されます。

## 住民の利便性が拡大

### 例：パスポートの発給申請の受理・交付事務を市町村（一部）に移譲

背景

新規にパスポートの発給を申請する場合、戸籍謄本（抄本）が必要なため、市町村役場と愛知県のパスポート窓口の2か所に足を運ぶ必要があり、申請者に手間がかかっていました。

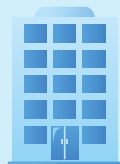
移譲前

2箇所で手続きが必要



① 市町村役場

戸籍謄本（抄本）取得



② 県パスポート窓口

パスポート申請・交付

移譲後

身近な市町村役場で  
手続きが完了



市町村役場

戸籍謄本（抄本）取得  
パスポート申請・交付

こんな効果が

パスポートの新規申請を身近な市町村役場で手続きできるようになり、住民の利便性が向上しました。

パスポート発給市町村

春日井市、豊川市、刈谷市、  
安城市、西尾市、蒲郡市、小牧市、  
田原市、設楽町、東栄町、豊根村  
(平成27年2月現在)

瀬戸市、美浜町

(平成27年4月より)

